

# 「夢の循環プロジェクト ～心が踊り、感動が舞い、夢を育む～」

＜目標＞ 計画期間：～令和10年3月31日

## ダンス等のスポーツを通じて、心が踊り、感動が舞う取組を展開し、夢を育むきっかけを創る

- ①スポーツをする子どもの増加↑
  - ②子どもの体力・運動能力の向上↑
  - ③不登校の児童生徒の減少↓
  - ④将来の夢がある子どもの増加↑
  - ⑤交流人口の増加↑
  - ⑥市民の運動実施率の向上↑
- (主なKPI: 将来の夢を持っている子どもの割合を令和元年度時点の数値まで増加させる = 小学生81.1%、中学生70.9%)

## ＜PRポイント＞

- ▼LDH JAPANとの「連携キックオフ宣言」に基づく全国初の中学校ダンス授業の取組「ダンスドリームプロジェクト」
- ▼関西経済連合会との連携によるオリンピック（加盟企業所属選手）を先生に迎えたスポーツ教室「夢の学校」
- ▼中学生が授業の一環で「みえ松阪マラソン」にスタッフとして参加し、大会を支える経験や全国のランナーと交流

## ＜現状・課題＞

- ①スポーツをする子どもの減少（スポーツ少年団団員数および中学校運動部員数の減少↓）
- ②子どもの体力・運動能力の低下（小・中学生の男女ともに全国および県の平均値を下回っている↓）
- ③不登校児童生徒の増加↑
- ④将来の夢がある子どもの減少（夢を持っている小学生79%・中学生66% ↓）

## ＜総合的な取組内容＞

### ダンスドリームプロジェクト

～松阪市のミライを担う君たちへダンスを通じて伝えたいメッセージ～



市内全11中学校の生徒に対し、EXILE TETSUYA氏がダンスを通じて、仲間とともに取組むことの達成感、自分の意思を表現することの大切さ、そして、夢を持ち実現することの素晴らしさを伝える。  
▼EXILE TETSUYA氏監修のDVD教材（文科省選定）を全校に導入しダンス授業を実施。（約10時間）  
▼EXPGダンススクールのインストラクターや三重高校ダンス部員を各中学校に派遣してダンス授業を支援等。

「夢の学校～わくわくミライ教室～」オリンピック等を「先生」に迎え、子どもたちを対象とした「スポーツ教室」を開催。各競技の技術指導はもとより、夢を持つことの素晴らしさなど“夢のチカラ”を子どもたちに直接伝えてもらうことで、子どもたちが夢を育むきっかけを創り、「先生」から子どもたちに世代を超えて夢を繋いでいく。

企業・団体と連携強化を図り、大会誘致やイベント連携、みえ松阪マラソン開催等により好循環を創出し、交流人口増加や運動実施率向上に繋げ、子どもたちの夢を育み、シビックプライドの醸成に繋がるよう取組を進める。

【フォローアップ欄】 令和7年度以降における計画の進捗状況

## ＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



## ＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

松阪市教育委員会事務局スポーツ課  
TEL:0598-53-4402